

地域密着サービス運営推進会議 出欠票

開催日時 : 令和8年1月29日(木) 13:55~14:50
 場所 : グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

- 議題：1.ご利用者状況
 2.近況報告
 3.行事報告
 4.事故・ヒヤリハット事例報告
 5.研修・委員会・訓練等
 6.今後の行事・研修等予定
 7.その他
 8.意見交換

令和8年1月29日(木)開催 運営推進会議参加者

		出欠	備考
稗原コミュニティセンター長	██████████様	○	
市森自治協会副会長	██████████様	○	
稗原地区社会福祉協議会会長	██████████様	○	
喜楽会会長	██████████様	欠	
稗原地区自治協会会長	██████████様	欠	
出雲市役所高齢者福祉課	██████████様	○	
グループホーム稗原職員	(代表取締役) ██████████	○	
	(管理者) ██████████	○	
	(介護支援専門員) ██████████	○	

地域密着サービス運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム稗原

日 時：令和8年1月29日(木)

13:55~14:50

場 所：グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

参加者：稗原コミュニティーセンター長 [REDACTED] 様

市森地区自治協会副会長 [REDACTED] 様

稗原地区社会福祉協議会会長 [REDACTED] 様

出雲市高齢者福祉課 [REDACTED] 様

グループホーム稗原(代表取締役) [REDACTED]

グループホーム稗原(管理者) [REDACTED]

グループホーム稗原(介護支援専門員) [REDACTED]

<議題>

- 1.ご利用者状況
- 2.近況報告
- 3.行事報告
- 4.事故・ヒヤリハット事例報告
- 5.研修・委員会・訓練等
- 6.今後の行事・研修等予定
- 7.その他
- 8.意見交換

<議題>

1.ご利用者状況(令和8年1月27日時点)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	1名	2名	2名	1名	0名	6名
女性	3名	1名	3名	1名	1名	9名
計	4名	3名	5名	2名	1名	15名

平均介護度…2.5

平均年齢…84.2歳(67~94歳)

・12・1月は、新規のご入居や退所、ご入院等はありませんでした。

2.近況報告

現在、2ユニットで15名の方がご入居中です。

日中は1ユニット内にて、一緒に体操やレクリエーションを行いながらお過ごしいただいでい

ます。

本格的な冬のシーズンとなり、積雪が見られる時期となりました。底冷えを強く感じる時期であるため、暖房を適切に活用しながら皆様が快適にお過ごしいただけるように努めます。また、引き続き感染症対策を継続していきます。

必然と室内での活動となってしまうため、少しでも季節を感じていただいたり、楽しい時間をお過ごしいただけるように、日々のレクリエーションやイベントを充実させていきたいと思えます。

3.行事報告

<12月 クリスマス会>

12月はクリスマス会を行いました。皆様と一緒にツリーの飾りつけを行い、完成したツリーを見られた皆様は「きれいだねえ」と優しい笑顔になっていらっしゃいました。

24日にケーキを召し上がられ、冬の思い出話をしたり歌を歌ったりと穏やかなクリスマス会を行いました。

<1月 ①お正月>

皆様体調を崩されることなく、お元気に新年を迎えることができました。

三が日にはお節料理の伊達巻や数の子、黒豆などを召し上がられ、喜んでいらっしゃいました。また、年末には新聞紙を使用したしめ縄づくりをされ、年明けにはお正月といえば…と思い浮かぶ書初めや福笑いを行いました。

書初めは、お手本をじっくり見て丁寧に書かれる方が多くいらっしゃいました。福笑いは、目隠しをして一人ずつ行われたため、顔のパーツを置くときに、周囲の皆様が「もっと上」「もう少し左だよ」など声をかけて盛り上がっていた姿が印象的でした。

<1月 ②誕生会>

1月生まれの方の誕生会を行いました。皆様からお祝いの言葉や歌を贈られると、大きな声でお礼を伝えられ、更に歌を歌い始められたりと、とてもご機嫌な様子になっていました。

ささやかなプレゼントとケーキにも喜んでくださいました。

4.事故・ヒヤリハット事例報告

○事故報告

・事例①78歳 女性 要介護4

(内容)

午睡をされている時間帯に巡回を行うと、センサーの鳴動とともにベッドサイドのマットレス上に座り込まれているのを発見する。

(対処)

痛み・外傷の確認を行う。痛みの訴えなし。外傷も見当たらず。ベッドへの移乗介助後、バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。

(ご利用者様の状況)

お変わりなし。

ベッドサイドのマットレスは、万が一の転倒・転落の緩衝材として用いていたため、衝撃が最小限に抑えられたと思われる。

(原因)

ベッドで休まれている時間が長い方であり、ご自分で体の向きを変えられる際に、両足をベッドサイドまで下ろされることが何度かあった。

そのため、両足を下げられた際にそのままベッドサイドへずり落ちてしまわれた可能性あり。
(再発防止に向けて)

こまめに巡回を行い、見守りを強化する。

・事例②88歳 女性 要介護3

(内容)

夕食後、ご自分の居室に戻られ暫くののち、センサー鳴動とほぼ同時にボタンと大きな音が居室から聞こえる。すぐに訪室すると顔を畳に付け、うつ伏せの状態であらうのを発見する。声をかけると「あー、やっちゃった。」と仰られる。

(対処)

職員二人にて起き上がりの介助を行う。ベッドへ座っていただき、痛みや外傷の確認を行う。眉間に擦り傷と出血、右口唇上部に発赤あり。眉間はガーゼ保護を行い、右口唇上部は特に処置なく経過観察を行う。痛みの訴えはないが、眉間を暫くの間気にされる。

バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。

主治医に報告し、経過観察の指示あり。

(ご利用者様の状況)

翌日以降、眉間下部分に内出血が出現する。ご本人様に痛み等伺うも、痛みの訴えはなし。既に転倒されたことは忘れていらっしゃる。食事等も全量摂取され、普段とお変わりなく過ごされる。

(原因)

昼夜ともに、ふと何かが気になった時や帰宅願望から移動しようとする方が多い方でいらっしやう。但し、歩行状態がかなり不安定で、立位保持も何かにつかまっていなければ保つことが困難なご状態であるため、センサーマットを使用し、ご移動時には職員が介助を行っていた。センサーマットの鳴動とともに倒れる音がしたため、訪室が間に合わなかった。

(再発防止に向けて)

- ・夜間覚醒されると暫くの間再入眠することが難しくなり、ご自分で居室内のものを確認しようとされたり、入り口まで出てみようとする。ご本人様の同線には職員の訪室が遅れてもつかまることができる家具を配置する。
- ・センサー鳴動時には速やかに対応をする。

・事例③75歳 女性 要介護3

(内容)

洗面台近くの席に座っていらっしゃる。ふと職員が目を見ると、固形石鹸を目の前に置き、口をモグモグと動かしていらっしゃるのを発見する。口の中を確認すると、固形石鹸のかけらが2、3個入っておりすぐに取り除く。

(対処)

口の中に石鹸や異物が残っていないかを複数回確認する。バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。

主治医へ報告。口の中が赤くなっていないか尋ねられ、発赤カ所はないことを報告。体調の変化等

があれば、救急外来の受診をするように指示あり。

(ご利用者様の状況)

特にお変わりなく過ごされる。

(原因)

- ・固形石鹸は、使用後職員がご利用者様の手の届かない場所に片付けていたが、その時は片付けていなかった。
- ・他ご利用者様の介助が複数名重なり、ホールの見守りが手薄になっていた。

(再発防止に向けて)

- ・固形石鹸の使用を中止する。ハンドソープなども使用しない時には手の届かない場所への保管を徹底する。
- ・ご本人様には洗面台から離れた席についていただく。
- ・ご本人様のご様子や行動の確認を常時行う。

・事例④88歳 女性 要介護3

(内容)

朝食後、ホールのソファに座っていらっしゃる。他ご利用者様がトイレに向かわれ、職員が案内しようとホールから数秒離れた際にドンと音がする。振り返ると、ご本人様がソファサイドにて左側を下にして転倒されているのを発見する。

(対処)

痛みの確認を行うと、「鼻を打った。」と訴えられる。その他の痛みなし。介助にてソファに座りなおしていただいた後、外傷の確認を行うが、訴えのあった鼻周辺も含め、発赤やそれ以外の外傷なし。左を下にして倒れていらっしゃったため、左側頭部も確認するが外傷なく、ご本人様も痛みなし。

バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。直後は血圧が高かったが、30分後再測定を行うと、基準値に落ち着いている。

主治医へ報告。経過観察を行い、何か変化が見られれば救急外来の受診を行うように指示あり。

(ご利用者様の状況)

転倒直後は鼻の辺りを気にされていたが、その後1時間程で気にされることもなくなる。痛みの確認を行うも、訴えなし。転倒されたことも忘れていらっしゃる。

(原因)

職員がホールから離れてしまい、ご本人様の行動に気づけなかったため。

(再発防止に向けて)

ホールの見守りを最優先として、職員間で声を掛け合いながら見守りを継続する。

○ヒヤリハット

・事例①79歳 男性 要介護2

(内容)

ご本人様が使用されているラジオの乾電池を探すために訪室し、クローゼット内を確認すると衣

装ケースの上に画鋲が複数入った GH 備品の丸缶を発見する。

(対策)

- ・ご自分のもの以外を持ち帰られる癖がある方のため、備品の保管場所をご利用様が入れない場所へ変更する。

・事例②86歳 男性 要介護2

(内容)

日中ご家族と外出され夕食前に帰設される。夕食を食べ終えられた後、ご自分のポケットから昼食後薬を取り出し、職員に告げずに服用しようとするのを発見したため、服用を止めていただく。昼食後薬は、外出時ご家族にお渡ししていた。ご本人様に伺うと、外出中の昼食時に服用をし忘れたため、夕食後に服用しようと思われたとのこと。

(対策)

- ・外出より帰設された際には、服薬されたかどうかをご本人様やご家族に必ず確認する。

5. 研修・委員会・訓練等

○研修

- ・12月はプライバシー保護の取り組みに関する研修、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修を行いました。

プライバシー保護については、個人情報の取り扱いだけでなく、日常のケアの際にもお一人おひとりのプライバシーに配慮したケアの環境を保っているか、情報共有時の声の大きさに注意できているかなど、配慮すべき点を再確認しました。

感染症や食中毒の予防・蔓延防止については、この時期に流行しやすいインフルエンザについて特に集中的に予防対策の確認を行いました。また、冬場の食中毒にも注意するよう再度注意喚起を行いました。

- ・1月は倫理及び法令遵守に関する研修、ハラスメントに関する研修を行いました。

倫理及び法令遵守については、倫理や法律・規則を守ることは大前提だが、職員不足や業務過多などにより倫理が乱れやすい状況になってしまう可能性を考えました。一人ひとりの心がけや研修等での振り返りの必要性とともに、働き方や環境も倫理を保つためには重要になることを学びました。

ハラスメント防止については、ご利用者やご家族から起こりうるハラスメント、職員間で起こりうるハラスメントについて考える機会となりました。具体的な事例をもとに、受け取り手が負担だと感じてしまう内容はハラスメントに該当しうることを学び、日頃の職員間のコミュニケーションの大切さ、事業所としてのマニュアルを設けておくこと、相談窓口を設けハラスメント事案が発生した場合には個々ではなく全体として取り組むことを再確認しました。

○委員会

- ・12月に感染症対策委員会を開催しました。手洗い・うがい・換気・消毒の継続、食事の提供に伴い、食材や調理器具、調理済みの食品など除菌や衛生管理に配慮し対応していくことを再確認

しました。

6.今後の行事・研修等予定

○行事予定

2月：節分、誕生会

3月：ひな祭り、誕生会

○研修・委員会・訓練等予定

2月：身体拘束排除に関する研修

BCP(自然災害)訓練

3月：高齢者虐待防止に関する研修

7.その他

・1/6に鳥根県東部を震源地とした地震が発生しました。発生時、ご利用様はほとんどの方がホールにいらっしゃり、お茶後のレクリエーション前の時間帯でした。

地震発生時もその後も、皆様大きな混乱なく過ごされました。

職員は、ホールの皆様の見守りを継続しつつ、居室で休んでいらっしゃったご利用様の安全確認、設備の不具合等が発生ししていないかの確認を行いました。また、その後の地震に備え、対応を確認しながら日常生活を継続しました。

今後もしつどのような災害が発生するかわかりませんが、ご利用様の安全を確保しながらケアが継続していけるよう職員間で対応を定期的を確認し、訓練等も重ねていきたいと思ひます。

8.意見交換

○今月初めに地震がありましたが、防災頭巾などの備えはありますか。

→現在防災頭巾はありません。用意の検討をします。

→ヘルメットが一番いいかもしれませんが、いつどのような災害が起こるかわからないので防災頭巾などを準備された方が良くと思ひます。

→承知しました。

○年齢を重ねるほどに体の動きが鈍くなっていくかと思ひます。やはり、転倒されることが一番大変なことではないでしょうか。病院のように寝てもらってればいいというわけではないですし、転倒リスクがある方を24時間見張っているわけにもいかないため、完全に防ぐことは困難かと思ひます。皆さん色々な思ひや考えがあつて、ふと思ひ立って動き出されることも少なくないと思ひるので、これまでの経験を活かして、できる限り転倒されないように努めていただきたいです。

→貴重なご意見をありがとうございます。これまで以上にご利用様の転倒予防に注意していきたくと思ひます。

○地震が発生した際に理解された方はどのくらいいらっしゃいましたか。

→ほとんどの方がわかられませんでした。今回はお一人の方がその後も暫く不安を感じていらっしゃいました。

○事故報告の事例②と④の方は同じご利用者様ですか。

→はい、その通りです。

○現在当グループホームで身体拘束をされている方はいらっしゃいますか。

→現在はいらっしゃいません。センサーマットを使わせていただいているご利用者はかなりの人数いらっしゃいます。

○夜間の職員は何人ですか。

→各ユニットずつ1名の計2名です。

→一人での見守りは大変ですね。

○洗濯は誰がされますか。

→職員が行っています。

・入浴はどのくらいの頻度で入られますか。

→予定としては週2回で計画をしています。

・現在の食事はどのようになっていますか。

→昼食のみ配食サービス(お弁当)をお願いしており、それ以外の食事は手作りをお出ししています。ミキサー食の方もいらっしゃるのですが、ミキサー食は3食分手作りをしています。

・ミキサー食の方は、しっかりと食べられますか。

→はい、皆様食べてくださいます。業者に頼んでいた時期もありましたが、あまり美味しくなかったのかその当時は残されることが多かったです。しかし、現在はほぼ完食されています。介助が必要な方も多いですが、温泉卵などを付け、口当たりが良く食べやすいものの提供を心がけています。

・一緒に食事作りをされるご利用者様はいらっしゃいますか。

→現在はいらっしゃいません。要介護状態が比較的軽度の方は男性が多かったり、これまで料理の習慣がない方などが多いです。

○高齢になるとやはりレクリエーションや行事が定期的にあった方がいいと思います。そのおかげで生活リズムが整う場合もあるのではないのでしょうか。

→はい、活動の時間は皆様への刺激にもなると思いますので、引き続き様々なレクリエーションや行事を計画していきます。

→多くのご利用者様がいて、一人がいい人や一緒に色々なことをしたい人などいらっしゃるかと思います。

→認知症の方は寂しがり屋だという話もあります。他の人の会話を聴いたり、声をかけもらえると喜ばれるそうです。

→やはり自宅にこもったり誰とも会わないと認知症は進んでしまうかもしれませんね。

○現在15名の方がご入居中ですが、待機者はいらっしゃいますか。

→現在はいませんが、2/1に新規のご入居予定です。

→かなりの期間ご利用者様が12名前後で推移していたため、経営的にはかなり厳しい状況が続いていましたが、徐々にご利用者様がが増えて安心しました。

○世間では賃上げの話などが出ていますが、介護報酬も増えるといいですね。

○他のグループホームでは、職員数不足から定員の人数を減らしているところもありますが、職員

数は足りていますか。

→常勤換算は足りています。

○居室にテレビのある方はいらっしゃいますか。

→はい、いらっしゃいます。見ている方もいらっしゃいますが、ただ点けているだけの方も多いです。

→一般的なテレビ番組は、認知症の方には速くて理解できないという話もあります。

→ラジオが好きで聴いていらっしゃる方もいます。

○難聴の方はいらっしゃいますか。

→程度の差はありますが、ほとんどの方が難聴でいらっしゃいます。

→難聴と認知症の関係性はありますか。

→あると思います。難聴になると脳への刺激が減り、認知機能の低下に繋がりがやういとされています。

→逆もあります。聴こえてはいらっしゃっても言葉が理解できず、認知症だと気づく場合もあります。

○近々選挙がありますが、選挙をされる方はいらっしゃいますか。

→現時点で一人いらっしゃいます。

→その場合はグループホーム内で投票をされるのですか。

→いいえ、投票所です。

→投票所までの移動等は誰が支援するのですか。

→ご家族様にお願いしています。

○散髪はどうされていますか。

→月に1回業者の方がいらっしゃいます。皆様概ね2~3カ月に一度のペースでお願いしています。

○現在地元(稗原)のご利用者様は何名ですか。

→現在は0人です。

○帰宅願望がある方は自宅に帰りたいのですか。

→自宅に帰りたいと仰られますが、自宅にいても帰りたいと仰られる方も多いです。

→場所の感覚がなくなってしまうのかもしれませんが。

→一説に認知症の方の“帰りたい”は、その方の一番輝いていた時へ帰りたいと思っていらっしゃるという話もあります。

→過去の生活習慣などを急に思い出されるのかもしれませんがね。

→自宅で生活していただければ一番いいですが、なかなか難しいことだと思います。やはり、経験を重ねた専門職の方のみていただけるのがよいと思います。

以上